

鹿児島県で高病原性鳥インフルエンザウイルスが 環境試料（水）から確認されました！

鹿児島県で採取された水から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が確認されました。

今シーズンは既に秋田県の養鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

野生動物侵入防止対策や消毒などの発生予防対策を徹底して下さい。

<経緯>

11月8日

・鹿児島県出水市で環境試料（水）を採取

11月11日

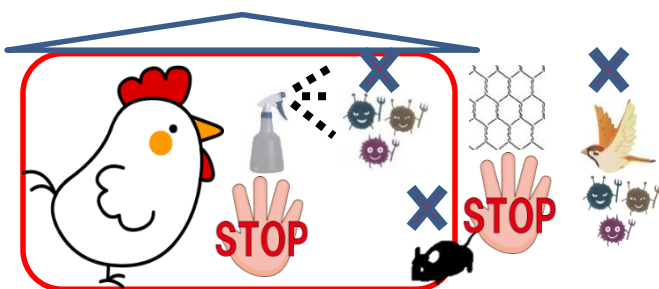
・高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）検出

<対応>

国内複数箇所でも高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたことから、野鳥サーベイランス「対応レベル3」に引き上げ、全国での野鳥における監視やウイルス保有状況調査を強化

◆渡り鳥は南丹地域へも多数飛来しています。

◆鳥インフルエンザに感染した野生動物侵入や感染動物の極わずかな量の糞等を踏んだ鞋底等から、家きん舎内へ持ち込み感染することが疑われています！！



- ・野生動物対策徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！